

数学

名古屋大学 理学部、医学部、工学部、農学部、情報学部

(自然情報学科、コンピュータ科学科) (前期)

1 / 1

<全体分析>

試験時間

150 分

解答問題数

4 題

解答形式

全問論述式。

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴

全問小設問によって構成されている。

1と**2**は文科系と共通問題だった。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

複素数平面が出題された。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	式と証明 微分法と積分法	数学Ⅱ	3次式を2次式で割った余りに関する問題. 3次関数のグラフの利用.	やや易
2	確率	数学A	サイコロを3回投げて出た目が条件を満たす確率.	やや易
3	複素数平面	数学Ⅲ	正六角形の頂点の位置関係を調べる.	標準
4	関数の極限 微分法・積分法	数学Ⅲ	抽象関数を含んだ定積分に関する論証.	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

大問4題の中に、分析力、思考力、論述力を試す問題が組み込まれている。典型的な計算・証明も含まれる一方で、状況をよく観察、分析し、構想する力、および与えられた条件や目標を念頭に置いて式を扱う力が必要となる問題もある。

以上のことを踏まえて日頃の学習においては、標準的な解法を早期に身につけた上で、難易度の高い問題や過去問を演習する中で自ら方針を立て作業する練習をしよう。今年はお題されなかったが、数列や整数の問題についてもしっかりと対策をしておくとうい。